

経営比較分析表（令和4年度決算）

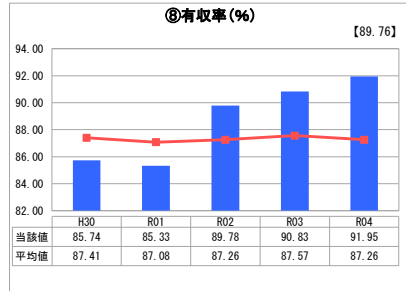
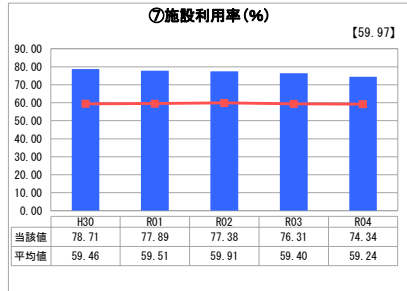
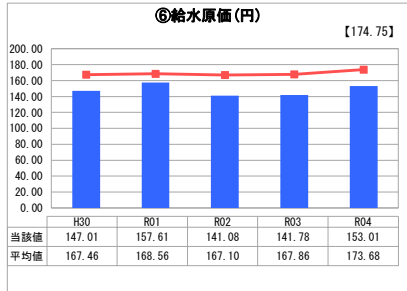
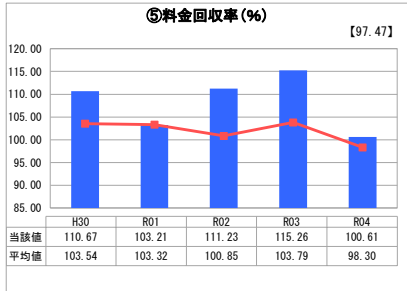
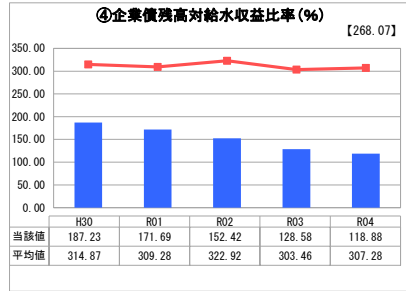
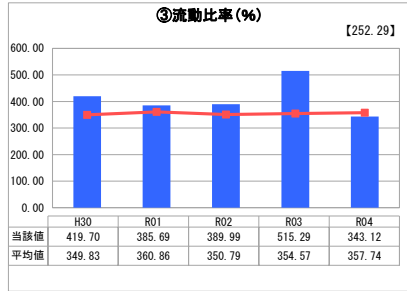
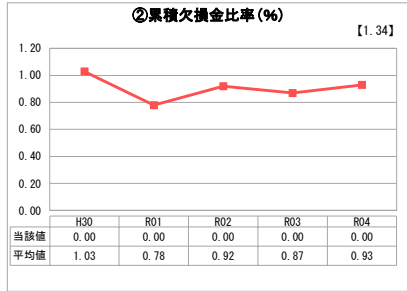
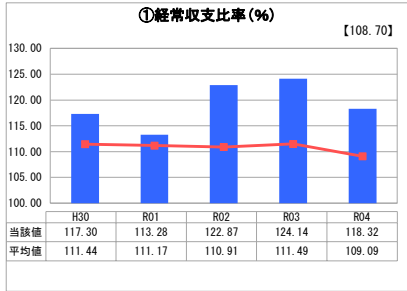
埼玉県 白岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客産料金(円)	
-	84.08	99.74	2,783	

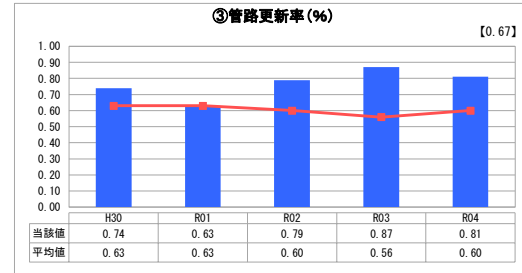
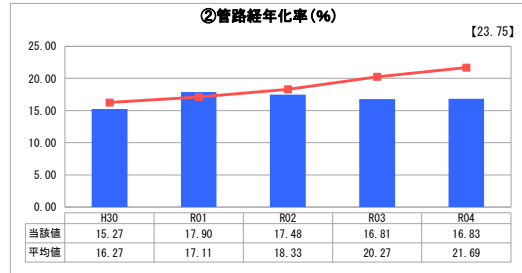
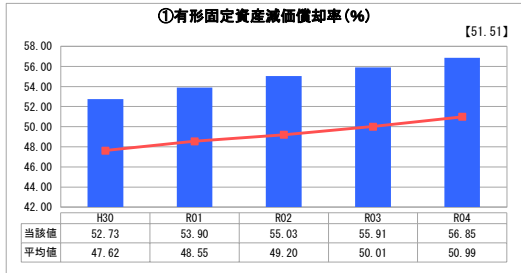
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
52,748	24.92	2,116.69
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
52,582	24.92	2,110.03

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

節水意識の向上等により有収水量が減少した一方、施設の運転・管理に係る包括業務委託料が増加したことにより、⑥給水原価は大きく増加した。これにより①経費回収率は、前年度比4.7%減少している。⑤料金回収率は、前年度比12.7%の大幅な減少となったが、これは物価高騰対策により4か月間基本料金を50%減額したことによるものである。なお、減収相当額は、地方創生臨時交付金により全額補てんしている。

③流動比率は100%を大きく上回り、④企業債残高対給水収益比率は類似団体平均を大きく下回るなど、企業債に依存しない短期的な支払い能力を確保できている。しかしながら、今後設備更新に多額の企業債を発行する予定である外、老朽管の更新が急務であることなど、多額の出費が控える中、将来を見越した健全な経営に努めていく必要がある。

⑧有収率は、洗管作業を行った延長の差により増加したが、引き続き漏水の抑制に努めていくなど、高い水準を維持していく必要がある。

人口の増加傾向が落ち着きを見せ始め、人口減少が間近にせまる中、今後の人口推移を的確に見極めつつ、料金の見直しを含む経営改善を検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を上回っており、管渠や施設の改築更新の必要性が高まっている。令和4年度に実施した老朽管更新により②管路経年化率は前年度と同水準を保ち、③管路更新率は類似団体平均を上回るなど、計画的な管路更新の成果は見えるものの、適切な資産の更新ペースを見極めて管渠や施設の改築更新を進めていく必要がある。

全体総括

現状は、財政の健全性を保っているものの、有形固定資産減価償却率が高く、将来的に資産の更新費用が増加していく見込みの一方、人口減少と節水傾向により給水収益の減少が懸念されるため、適切な施設更新をそれに対する財源確保を示した投資・財政計画に基づき、健全な経営に努めていく必要がある。